

スマートメーターを活用したダイヤモンドリスpons実証事業の採択
およびフィージビリティスタディ調査事業の開始について

2026年7月2日
東京電力エナジーパートナー株式会社

当社は、株式会社 Shizen Connect を幹事社とする 10 社（以下、「本コンソーシアム」）で、経済産業省（執行団体：一般社団法人環境共創イニシアチブ）の「令和 7 年度補正 スマートメーターを活用したダイヤモンドリスpons実証事業」^{*1}における「フィージビリティスタディ調査事業（C 事業）」に応募し、2026 年 6 月 30 日に採択されたことを受け、共同で実証（以下、「本共同実証」）を開始いたします。

本共同実証を通じて、次世代スマートメーターの IoT ルート^{*2}を活用したダイヤモンドリスpons（以下、「DR」）^{*3}の商用利用の可能性を検証するとともに、その実現に向けた課題抽出を行います。

2050 年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）の主力電源化が進むなか、天候等による再エネの出力変動を吸収し、電力システムを安定運用していくための DR が重要となっています。

その手段の一つとして、家庭用蓄電池等の低圧リソースの DR への参加が期待されており、本共同実証において、次世代スマートメーターの IoT ルートを活用した DR の実証・セキュリティ検証・環境構築に向けたフィージビリティスタディを実施します。

本コンソーシアムは、VPP^{*4}/DR プラットフォーマー、小売電気事業者/アグリゲーター、機器メーカーという、DR ビジネスを担う多様なプレイヤーにより構成されています。各社の専門性や知見を集積させることで、多角的な視点で、実効性がありビジネスに直結した検証が可能となります。

本共同実証において抽出・整理したビジネス課題や技術要件に基づき、2027 年度には次フェーズとして、一般家庭に設置された低圧リソースの実際の制御を含むフィールド実証を実施する予定です。

本コンソーシアムでは、今後も業界の垣根を越えて強固に連携し、再エネ主力電源化と電力システムの安定化を両立する持続可能なエネルギー社会の実現に貢献してまいります。

【実証概要】

目的	次世代スマートメーターの IoT ルートを活用した DR の実証・セキュリティ検証・環境構築に向けたフェージビリティスタディ
参加社	幹事社： <ul style="list-style-type: none">株式会社 Shizen Connect 実証協力社： <ul style="list-style-type: none">株式会社エナリス大阪ガス株式会社オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社関西電力株式会社ダイキン工業株式会社東京ガス株式会社東京電力エナジーパートナー株式会社東邦ガス株式会社パナソニック エレクトリックワークス株式会社
実証期間	2026 年 7 月 2 日～2027 年 2 月 1 日
調査内容	<ul style="list-style-type: none">アグリゲーターが想定するユースケースに基づく、IoT ルートと既存ルート各々の費用便益の比較評価一般送配電事業者とアグリゲーター・機器メーカーの所掌に基づく、商用利用に向けた運用課題及びセキュリティ対応の整理IoT ルート無線端末等の技術仕様の調査IoT ルートに対するアグリゲーターや機器メーカーの要求事項の整理

【本共同実証における調査内容（詳細）】

調査項目	調査内容
共通調査： 低圧ユースケースの洗い出し	<ul style="list-style-type: none"> IoT ルート仕様調査 IoT ルート適用可能性の整理（ユースケース） 既存制御ルートとの比較・使い分け検討
運用課題の整理	<ul style="list-style-type: none"> システム間の運用課題の調査 IoT ルート無線端末の設置・運用課題の調査 フィールド実証に向けた運用フローの整理
費用便益の評価	<ul style="list-style-type: none"> IoT ルート利用費用の調査 IoT ルート適用可能性の整理（技術的特性の整理等） IoT ルート利用による便益の調査 既存ルートとの比較評価
フィールド実証要件定義	<ul style="list-style-type: none"> フィールド実証実施内容の整理 リソース確保方法の整理 IoT ルート運用フローの整理
セキュリティリスクの定義	<ul style="list-style-type: none"> IoT ルートのセキュリティリスク検討 既存ルートと併用時のセキュリティリスク検討
独自調査： 一般送配電事業者とアグリゲーターの連携に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> 一般送配電事業者・アグリゲーター間の責任分界点の整理 アグリゲーター・機器メーカー要求仕様の整理
IoT ルート無線端末に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> DR 制御/計量データ送信兼用仕様の検討 IoT ルート無線端末調達方法の調査

以上

※1 令和7年度補正 スマートメーターを活用したディマンドリスポンス実証事業

ウェブページ：https://sii.or.jp/smartmeter_jisshou07r/

※2 電力スマートメーターと特例計量器等と接続される無線端末との間の無線インターフェース

※3 電力使用量を制御することで電力需要パターンを変化させること

※4 仮想発電所の略称。複数の分散型電源（蓄電池、再生可能エネルギー発電設備など）を IoT 技術で統合・制御し、あたかも一つの発電所のように機能させるシステム